

佐久市長選挙公報

平成25年4月14日執行 佐久市選挙管理委員会

私、「花里のぶひこ」はアフガニスタンなど世界の厳しい環境の中で、
貧困や病気、紛争や災害などと闘いながら実直に生きる人たちのお手伝いを何年も行ってきました。
だからこそわかる安心出来る暮らしと、心豊かな人々が集う街の尊さ。それをふるさと佐久で実現したいのです。

世界の経験を佐久で活かし、佐久から世界に発信する。

目指すものは、近隣市町村に、国内の自治体に、そして世界に誇れる佐久市です。



人・環境・産業のライフサイクルをトータルにマネジメント
共生の里「佐久」

53歳



佐久市長候補
花里のぶひこ
信頼できる人に、
信頼できる市政を託す。

**地場資源を活かし、
産業を起こす。**

儲かる地場産業システムの構築。

▶ 産業の創出 ▶ 雇用の創出 ▶ 人口増加

▶ 過疎地の活性化

豊富な水資源(用水路)を活用した水力発電と、廃材
木や間伐材を利用したバイオマス発電を導入し、
環境の保全を図りつつ、新たなエネルギー産業を創
出し、雇用の機会を拡大します。

**佐久に学び、
佐久で働く。**

教育&就労支援。

▶ 専門学校誘致・就業支援 ▶ 人口流出減少

▶ 知識・技術の向上 ▶ 地元就職 ▶ 経済の活性化

才能豊かな若き人材を育て、地域経済の担い手とし
て地元で活躍できる環境を整備するために、工学系
の専門学校を誘致し、佐久の街に若い力と活気を取り
戻します。

**子育て支援、
高齢化社会。**

「子どもは市の宝」「健康長寿」を
全国に誇る佐久市にします。

▶ 少子化対策 + 高齢化対策

少子化対策やいじめ問題、そして高齢化への対応
も全てにおいて地域社会のあり方が問われます。
地域が責任を持って子育てを育み、高齢者に安心・安
全を確保する。そんな佐久市を目指します。

ムダな事業を実施せず、借金を増やしません!

市民の皆様の声を反映した予算を作ります。

子どもからお年寄りまで、安心して暮らし続けられる市にします。

「市長倫理規定」を設け、佐久市にふさわしい市長になります。

見直そう、見つけよう新しい未来。

佐久市、新出発!

プロフィール

- 1959年(昭和34年)9月30日、佐久市生まれ
- 佐久県立中学校卒業(昭和77年)北高等学校卒業
- 東京理科大学理工学部建設工学科卒業
- 米国シラキュース大学大学院修士課程(都市計画工学)修了
- 外務省経済協力開発機構(JICA)研修員(2000年～2002年)
- 名古屋大学大学院生命科学研究科 特任教授(2008年)
- 名古屋大学国際開発研究センター 専任教授(2009年4月～2010年3月)
- JICAアフガニスタン事務所 所長(2010年1月～2011年5月)
- JICA東京国際センター 所長(2012年1月～2013年2月)



実現力! 柳田清二は住みよい町「日本一」を目指して
5つの方針、11の政策を掲げ、全力で実現してまいります。

佐久市に住み続けて40数年、政治に携わって24年。佐久平をよ〜く知っています。

世界最高健康都市の構築

- 政策 「新しい保健活動」をスタートさせます。
- 政策 佐久総合病院再構築の支援と再構築を活用したまちづくりを進めます。

安心安全な子育て支援

- 政策 安心安全な「満足度の高い」公園を創ります。
- 政策 子供たちの電話相談「チャイルドライン」を実施します。

地域経済の活性化

- 政策 企業のリスク分散という観点から企業誘致を進めます。
- 政策 市内企業の支援を充実させていきます。
- 政策 「産業としての農業」「暮らしとしての農業」の双方を支援してまいります。

交流人口の創出

- 政策 平成26年度末、新幹線「金沢」延伸。この対応を重要施策としていきます。
- 政策 「空き家バンク」成約数日本一を維持発展させていきます。

**徹底した情報公開による
市民参加型市政の実現**

- 政策 「新しい情報公開」を実現します。
- 政策 「佐久市型論点整理手法」をルール化していきます。

柳田清二 プロフィール

昭和44年 佐久市で生まれる。
【学歴】中校 佐久 野田北高等学校 高専1年 高専2年
中校 5年 中央大学経済学部卒業
【職歴】中校 佐久 日本第一電機建設検査
中校 02年 佐久市議会議員(2期)市議会議員
平成17年 長野県議会議員(2期)3期 3年間の
平成21年 佐久市長に当選
職「花里のぶひこ」の活動を通じて、
第2回「ぶひこ」大賞(佐久市)特別賞を受賞。
現在、全国自治体協会理事。



やなぎだ
だ
せい
じ
柳田清二

佐久市長選挙公報

平成25年4月14日執行 佐久市選挙管理委員会



柳沢しげや

『市政のえりを正す』ために
あなたの『良心』に
訴えます。

佐久市は高速交通網
が充実する時代を迎えます。
この高くて青い空のように、清々
しい街を皆さんと一緒に創っていきま
しょう。小さくてもまあるい街ではありません。

- 住むのにお金がかからない街
- 時間、空間、そして心にゆとりが持てる街
- 住んでいることで健康になれる街
- そういう『文化都市』こそ、佐久市の姿です。

どう人とやさしく関わり人間の本质を高めながら生きて行くかが、いま問われています。少し不便で貧しくても、一家に幸せが満ちていた少し昔の暮らしに、思いを馳せて見たいのです。そのスタイルは、心がけひとつ、取り戻せるのです。佐久市はそういう都市へ向かって、舵を切れる街です。真の幸福、豊かさは、心身ともに、健康であることだと確信しています。

こんな風にします。

- ①多くの優秀な人材組織を最大限機能させます。
- ②支所機能を、時代に合わせて、強化します。そして、地域の伝統文化・暮らしを守り、小さなむかしの『村リビレッジ』『コミュニティ』を創ります。
- ③社会力・地域力を育て、佐久市を快適な居場所にしましょう。



教育に特に重点を！

スウェーデン、フィンランドに学ぶ『ピサ型教育』へステップアップ。これは、理解力を重視し、強化する学習形態です。市内の望月小中学校のフラットホーム教育で実践されています。地域の子どもは、地域で育て、地域の特長を活かし一体化を図ります。

節約、節約で
やりくりしてまた佐久
市政が活きます。
市民の暮らしや雇用が守られる
ために、もっと大膽な市の財政は知
恵を絞って使われるべきです。

5大目標 ①経済振興 ②農業振興 ③教育の充実 ④福祉の充実 ⑤エコタウン構想/減災拠点に

投票のご案内



- 1 投票日 4月14日(日)午前7時から午後8時まで
(馬坂区、広川原区は午前7時から午後6時まで)
- 2 佐久市長選挙の投票の方法は記号式です。
記号式投票とは、投票用紙に候補者の氏名が印刷されており、自分の投票しようとする候補者1人に対して、○を付ける欄へ○印のゴム印を押して投票する方法です。(ただし、期日前投票、不在者投票では候補者の氏名を記入する、記名式投票となります。)
- 3 入場券は郵送でお届けしてあります。中開きのはがきで1世帯4人分まで記載されています。
紛失などで入場券がない場合でも選挙人名簿に登録されていれば投票ができますので、投票所で係員にお申し出ください。
投票日当日、佐久市に住所を有しない方は、入場券が郵送されても投票することができません。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したもので、掲載の順序は選挙管理委員会のくじにより決めたものです。